

第19回 岐阜大学フォーラム

『恐怖と疾病』

ふくだ まひと
講師：福田 真人 氏

名古屋大学大学院国際言語文化研究科教授

と き：6月19日(火)16:15-17:30

ところ：講堂

福田先生は、京都大学工学部卒業後、東京大学大学院総合文化研究科修了。オックスフォード大学医学史研究所、ハーバード大学科学史客員研究員、デリー大学客員教授などを経て現職。ご著書に、『結核の文化史』（名古屋大学出版会）、『結核という文化』（中央公論社）、『日本梅毒史の研究』（思文閣出版）などのある、著名な比較文学・比較文化・医学史の研究者です。

今回のご講演の要旨

日常に潜む恐怖において、もっとも遠く思われていた疾病が、21世紀の今日も、意外に身近なものであることを思い知らされる。蔓延すれば世界で4,000万人の犠牲者を出すと予想される鳥インフルエンザ、もうすでに4,000万人の感染者を出したエイズ等々。

歴史はいつも疾病で満ちていた。その歴史をたどりながら、今後の対策を考えてみよう。また、その恐怖が生む特殊な現象にも注目してみるとよいだろう。医学の功績とその実際という問題も、そこから派生してでてくるだろう。

講演会終了後に福田先生を囲んで、意見交換会を図書館1階会議室で行います。多数ご参加下さい。

(参加費：学生無料、教職員 2,000円)

Forum @ Gifu-u.